

令和3年11月1日作成

医療・介護関係者の研修について
～「急性期病院と平塚市地域包括支援センター 情報交換会」開催報告～

1 開催趣旨

地域包括ケアシステムの構築における医療・介護の連携は、コロナ禍において以前にも増して重要となっており、在宅療養のためには在宅方針の共有、多職種連携が求められます。

今年度は、互いの役割を理解した更なる連携強化を目的に、急性期病院（平塚共済病院・平塚市民病院）と平塚市地域包括支援センターとの情報交換会を開催しましたので、報告をいたします（主催：平塚市在宅医療・介護連携支援センター）。

- (1) 日 時：令和3年10月21日（木）14時00分～15時30分
- (2) 実施形式：Zoomによるオンライン
- (3) 内 容：①急性期病院の業務紹介
②平塚市高齢者よろず相談センターの業務紹介
③事前に提出された課題についてのグループワーク

2 開催内訳

(1) 合計27名

- 参加者：平塚共済病院 4名（医療連携支援センター）
平塚市民病院 3名（入退院支援・医療相談室）
平塚市地域包括支援センター 12名（12センター）
- アドバイザー：高山医院 1名（高山院長）
ありがとうみんなファミリークリニック平塚 1名（小宮山院長）
- 事務局：平塚市在宅医療・介護連携支援センター 3名
平塚市地域包括ケア推進課 3名

(2) 主な感想等（アンケートより）

- 良かった点：Webとはいえ、顔を合わせて直接話げできたことは良かった
病院の状況が分かり良かった
- 悪かった点：もっと時間があれば良かった
- その他：病院と包括で今後も定期的に情報交換の場を設けていただけるとありがたい
様々な職種と顔の見える関係を作りたい

3 今後について

今年度内の開催は未定ですが、急性期病院と居宅介護支援事業所との情報交換会など、他職種との情報交換会を平塚市在宅医療・介護連携支援センターと企画、調整いたします。

以上